



Be Earth Friendly from Yaeyama Islands

「みんな自然とともに」

石垣島ビーチホテルサンシャイン
インタープリテーション計画



1. はじめに

本書は、石垣島ビーチホテルサンシャインにご宿泊していただくお客様に、当ホテルで体験してもらいたいこと・当ホテルがお伝えしたいことをまとめたものです。まとめることで、石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・当ホテルの価値・魅力を確認し、それを観光資源として活用できるのではと考えました。

当ホテルでは「ご宿泊、お食事、アクティビティ等、お客様とスタッフのコミュニケーションを通して八重山の魅力をお伝えし、未来の子どもたちに豊かな自然を引き継ぐこと」を地元資本企業の役割と位置付けております。

この思いを実現し、持続的に成長させていくために、「石垣島ビーチホテルサンシャイン・インタープリテーション計画」を作成しました。

「インターパリテーション」とは、自然地域、歴史地域、ミュージアムなどにおけるお客様とのコミュニケーションの手法です。教育的なコミュニケーションを用いることを特徴としています。例えば、ご宿泊のお客様にホテルの敷地を案内するとします。ホテルの敷地にはテリハボクという樹木が多くあります。お客様には「この木はテリハボクという木です」と案内すると思います。ここでインターパリテーションの手法を使って案内をすると、「この木はテリハボクという木です。石垣島では方言でヤラブと呼ばれています。ヤラブはとても硬いのが特徴で、昔の八重山の人々は建材に利用していました。また、ヤラブの実から出る汁を昔の人は石鹼がわりに使っていました。現在ではお肌の保水力を高めることが知られていて、地元では化粧水としても利用する人もいます」、となります。これがインターパリテーションでいうところの「教育的なコミュニケーション」であり、この手法を使うことにより、テリハボク（以下ヤラブ）という木をストーリー的に説明できます。このようにストーリー的に案内していくことがインターパリテーションの手法です。

このインターパリテーションを用いることにより、当ホテルがお客様に体験していただきたいこと、お伝えしたいことがより明確になります。同時に当ホテルの観光資源を活用でき、お客様の満足度を高めることに繋がると考えています。

「インターパリテーション計画」とは、「インターパリテーション」を行うにあたっての指針となるものです。いわば、インターパリテーションを行う上で当ホテル独自の基本的な方針・手引きのようなものです。

当ホテル独自のインターパリテーション計画を作成することによって、当ホテルのツーリズムの指針を一つにまとめることができると同時に、社員の皆様にも当ホテルの指針を共有でき、お客様に当ホテル独自のハイレベルなツーリズムをご提供できることに繋がると考えています。

なお、お客様の観光に対するニーズや社会状況は日々変化します。それに合わせてインターパリテーション計画も変えていかなければなりません。そこで当ホテルのインターパリテーション計画は、5年ごとを目安に改訂していくことを考えています。

定期的に改訂することで、石垣島ビーチホテルサンシャインの「らしさ・価値・魅力」を再発見し、お客様へ高品質なツーリズムを創造していきたいと思っています。



テリハボク（方言名：ヤラブ）



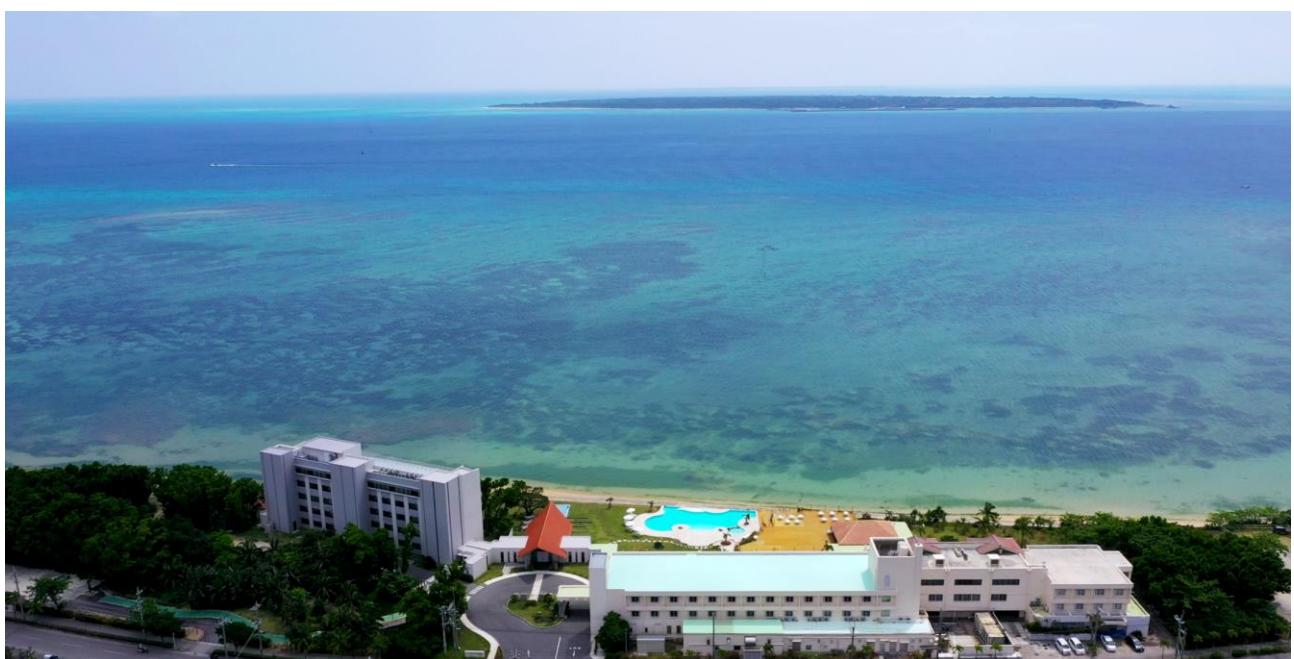
ヤラブの木漏れ日が楽しめる客室



ヤラブの実と花



倒木のヤラブを1年乾燥させ木のぬくもりが感じられるアイテムとしてリユースしている



空撮；ホテル周辺がヤラブ林で囲まれている



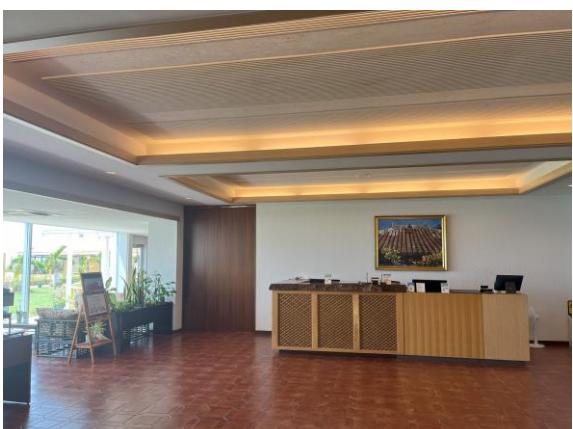
外観(1979年52室で開業)



外観(2016年新館オープン計114室)



本館ロビー(大きなフロントカウンターが特徴的)



本館ロビー(フロアに出やすいカウンターに変更)



本館客室(落ち着いた色調の絨毯とインテリア)



本館客室(フローリングと明るい色調にリノベーション)



庭園(赤瓦の東屋の隣にプール隣接)



庭園(赤瓦の屋内化・テラス増設・インフィニティープール)

目次

1. はじめに	P1
2. お客様に体験してもらいたいこと・お伝えしたいこと	P4
3. 5つの中心	
(1) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その1 「地元資本のホテル」	P6
(2) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その2 「持続可能な光害への取組」	P8
(3) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その3 「星空ツアーの取組」	P11
(4) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その4 「敷地内の多くの亜熱帯の樹木・庭園の植物」	P13
(5) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その5 「八重山の島々を見渡せるオーシャンビュー」	P16
4. 石垣島ビーチホテルサンシャイン・インタープリテーション計画関係図	P17
5. 最後に	P18



ホテル庭園のヤエヤマヤシ

2. お客様に体験してもらいたいこと・お伝えしたいこと

石垣島ビーチホテルサンシャインの「インターPRIテーション計画」を作成する上で、お客様に体験してもらいたいこと・お伝えしたいこととは一体何かを考えました。当ホテルの経営理念（大事にしていること）について社員アンケートを実施することで、観光資源として活用できるもの・こと、そして当ホテルの魅力をお客様にお伝えするときにどのような話をするかを考えもらいました（表1）。その結果を6つのカテゴリーに分けて、当ホテルが体験してもらいたいこと・お伝えしたいことを挙げます。

(1)お客様に地元八重山の食材を中心に作られたサンシャインの料理を味わっていただく

- ①サンシャインの料理は、地元八重山の食材を中心に作られていることを知る
- ②サンシャインの料理を通して、地元八重山の食材の美味しさを知る
- ③地元八重山の食材を使うことで、地産地消の繋がりを知る

(2)リジェネラティブツーリズム

- ①サンシャインにご宿泊いただくことが八重山のためにもなり、お客様の満足度を高めることになる

(3)光害（ひかりがい）について学ぶ

- ①光害について学ぶ
- ②光害対策をしているからこそ、星空鑑賞がより楽しめ、その価値について学ぶ
- ③日本で数少ない光害対策をしているホテルであることを学ぶ

(4)八重山の星について学ぶ

- ①八重山の星空に触れ合う
- ②星座・星について学ぶ
- ③八重山では古くから星と暮らしが結びついていたことを学ぶ
(星の位置と農業漁業・民謡)
- ④日本初の「星空保護区」に認定されたことを学ぶ
- ⑤八重山の「星文化」を学ぶ
- ⑥八重山方言での星座の名前を学ぶ
- ⑦ツアーに参加されたお客様の共通の思い出を作る

(5)八重山の自然について学ぶ

- ①自然を五感で楽しみながら学ぶ
- ②生態系への影響を学ぶ
- ③自然との付き合い方を学ぶ
- ④自然とのつながりを学ぶ
- ⑤生き物・植物と触れ合う
- ⑥八重山の植物のにおいを体験する
- ⑦植物は八重山方言名で呼ばれていることを学ぶ
- ⑧お客様が共通の思い出を作る

(6)八重山の地理・歴史・文化を学ぶ

- ①八重山の海の美しさを知る
- ②八重山の夕日の素晴らしさを知る
- ③八重山の島々のつくりを学ぶ
- ④植物を通して、八重山の文化や暮らしを学ぶ
(ヤラブ、月桃の葉、クバの葉、芭蕉など)

令和6年1月吉日

石垣島ビーチホテルサンシャイン社員の皆様

「アンケートのお願い」

いつもありがとうございます。
石垣市と環境省とホテルのプロジェクトの一環で、社員の皆様にアンケートのご協力をお願いします。

1. お客様にホテル敷地内のおすすめスポットを聞かれたら、どこを紹介しますか。また、その理由を教えてください。

2. 星空やオーシャンビュー、景色の他に、ホテルの敷地内で観光資源になりそうなものを教えてください。

3. サンシャインの魅力をお客様にお伝えする場合、どのようなことをお話ししますか。

4. お客様に喜んでいただいたことはなんですか。

回答締め切り 1/31 (水)

アンケートは、QRコードを読み取りオンラインでもご回答できます。
この用紙でのアンケート提出先は、赤城陽子にご提出ください。
ご協力、ありがとうございます。
アドバイスがありましたら、いつでもお声をかけください。



(表1) アンケートの内容

3. 5つの中心

前ページで挙げた当ホテルのインターPRIテーションでお客様に体験してもらいたいこと・お伝えしたいことをまとめて、以下の5つことを石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力として考え、当ホテルのインターPRIテーション計画の中心としました。

- (1) 「地元資本のホテル」
- (2) 「持続可能な光害への取組み」
- (3) 「星空ツアーの取組」
- (4) 「敷地内の多様な亜熱帯樹木・庭園の植物」
- (5) 「八重山の島々を見渡せるオーシャンビュー」

(1) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その1

「地元資本のホテル」

石垣島ビーチホテルサンシャインは、石垣島では数少ない地元資本のホテルです（図1）。だからこそ、「地元八重山のために地元資本のホテルだからできること」を常に考えてきました。その取組として、二つのことを挙げることができます。

石垣島ビーチホテルサンシャイン
～Be Earth Friendly from Yaeyama Islands～
地元資本の企業としての役割
ご宿泊、お食事、アクティビティ等、お客様とスタッフのコミュニケーションを通して
八重山の魅力をお伝えし、未来の子どもたちに豊かな自然を引き継ぐこと

会社名	株式会社サンシャイン
創業	1978年8月
会社所在地	沖縄県石垣市新川2484番地
施設名称	石垣島ビーチホテルサンシャイン
開業	1979年8月
事業内容	ホテル事業
客室数	114室（本館74室・新館40室）
従業員数	約45名


1979年開業当時


2022年現在

石垣島の西海岸線沿いに位置する「石垣島ビーチホテルサンシャイン」
海に浮かぶ八重山の島々、幻想的な夕焼け、夜空に輝く星
自然の音色に耳をかたむけ、ゆったりとお寛ぎいただけるよう工夫を凝らしました


西表村温泉木浴場「みんべとぬま」


しゃにしきやーぐーの門前


インフィニティープール


Guest Room (1F 6)


Hibachi Yakiyakiの海の夕日


Lily on the sea 夜空


Capricious flower


Woman on the beach


Hibachi Yakiyakiの海の夕日


Lily on the sea 夜空


Beach Sunshine YOGA


Relaxation (1F 6)

 BEACH HOTEL

（図1）石垣島ビーチホテルサンシャイン施設概要

① お客様に地元八重山の食材を中心に作られたサンシャインの料理を味わっていただく

当ホテルは地元八重山の食材を使った料理をお客様に提供しています。朝食バイキングでは、「ゆし豆腐」、「八重山そば」、「ちゃんぶる一料理」、「八重山かまぼこ」、「地元の食材で作られたハム・ソーセージ」などが並んでいます。また、ディナーでは、石垣牛や八重山の海でとれた魚介類を食材にした料理を、お客様に提供しています。八重山の食材を使ったサンシャインの料理を通して、八重山の食材の美味しさをお客様にお伝えし、同時に「地産地消」を通して、地元八重山の農家や漁師の方々、地元食品加工業者の方々の生活にも繋がっていることもお伝えしたいと考えています。



石垣牛のディナー



八重山そば



ゆし豆腐

② リジェネラティブツーリズム

当ホテルは地元資本のホテルだからこそできることとして「リジェネラティブツーリズム」という考え方方に注目しています。

リジェネラティブツーリズム (Regenerative tourism) とは、「再生型の観光」を指し、旅行先の状況をよりよくするような旅行を意味します。例えば、観光のお客様が石垣島を訪れた際に、立ち寄ったビーチで流れ着いた漂着ゴミを拾い、より良い状態に戻していただきます。そのような意識でお客様が観光していただけるように、当ホテルがリジェネラティブツーリズムを伝え行動することで、地元八重山のためにもなり、ひいてはお客様の旅行に対する満足度も高められ、同時に、ホテルの質も高められると考えています。

以上①②のことから、「地元資本のホテル」という考えを、インタープリテーション計画の中心のひとつに据えることとし、次のことに繋げていきたいと考えています。

- ①サンシャインの料理は、地元八重山の食材を中心に作られていることを知る
- ②サンシャインの料理を通して、地元八重山の食材の美味しさを知る
- ③地元八重山の食材を使うことで、地産地消の繋がりを知る
- ④「リジェネラティブツーリズム」をお伝えすることで、サンシャインにご宿泊いただくことが、八重山のためにもなり、お客様の満足度を高めることにもなる

(2) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その2

「持続可能な光害への取組」

石垣島ビーチホテルサンシャインは1979年に開業し45年目を迎えます。

2016年にグランドオープンした新館オーシャンガーデン棟のコンセプトは「主人公は八重山の自然とお客様」。それを実現するための工夫のひとつとして、敷地屋外及び館内の照明には光害(ひかりがい)対策を施した照明設計を採用しています。その目的は、経営理念の一環で「ホテル周辺の自然環境の保全」を行うためです(図2)(図3)(図4)。光害とは、夜間照明など人工的な光の使い方によって、美しい星空が見えなくなったり、夜行性の野生生物や植物、人々の健康や暮らしに悪影響を与える状態をいいます。

持続可能な光害(ひかりがい)への取組

あなたの住む町で、見上げた夜空に星は輝いていますか？

近年、夜空が明るすぎる問題点が指摘されています。ある研究では「世界に住むこどもたちの70%は天の川を見たことがない」との結果が報告されています。

八重山諸島が日本初の星空保護区に認定！

2018年4月、国際ダースカイ協会(通称IDA)によって、西表石垣国立公園内が「星空保護区」に認定されました。

International Dark-Sky Association

国際ダースカイ協会 (International Dark-Sky Association)
光害のないくわしく美しい夜空の保護を目指す国際的な団体。

星が見えない！光害(ひかりがい)ってなに？

夜の照明など人工的な光は、使い方をまちがえると野生生物や人々の健康や暮らしにも深刻な悪影響をおぼします。

生態系への影響

ウミガメは浜辺で産卵します。孵化した子ガメが海に帰るとき、海面上に反射する月明かりをたよりにしますが、周囲に街灯があると方向を見誤って海に帰ることができません。

夜間、月や星をたよりに飛行する渡り鳥、暗闇で光るホタル、夜に鳴くカエルなど、多くの夜行性生物にとって、夜が明るくなることは行動を乱す原因になります。

同じように、植物の生育にも影響を及ぼすことがあります。

ひとへの影響

わたしたちの体に備わる体内時計は、自然のサイクルによってコントロールされています。一日中明るい場所で生活し、暮と夜のリズムがくずれると様々な病気のリスクが高まります。

エネルギー問題

エネルギー効率が高く必要最小限の明るさの電球を使用する

電灯に傘をつける

必要な場所だけ照らす

夜空を守るためにできること

いつまでも夜空に星が輝きますように

光害対策で明るくすることは防犯上問題はないの？

本当に必要な部分を明るくするというのが光害の目的です。照明を正しく使うことで町にこなげな良い効果があります。

されないライトショーナンバーライトなどは問題になるの？

人が多く集まる商業施設などで、目的のあるイルミネーションは光害と考えません。ただし周囲の住民や動物などの環境への配慮は必要です。

サンシャインから望む夏の夜の川

しゃにしゃに星空ツアー(新棟屋上で開催)
ツアーでは、光害についてもお話しします

8 BEACH HOTEL SUNSHINE ISHIGAKIJIMA

(図2) 石垣島ビーチホテルサンシャインにおける持続可能な光害への取組の全体図

持続可能な光害(ひかりがい)への取組

光害対策を施したホテル全体の照明計画



(図3) 光害対策を施したホテル全体の照明計画

持続可能な光害(ひかりがい)への取組



(図4) 光害対策を施したホテル細部の照明計画

10

BEACH HOTEL
SUNSHINE
ISHIGAKIJIMA

また、ホテルの敷地内にある多くの亜熱帯樹木の中には、オーシャンガーデン棟建設後もたくさんの動生物が生息しており、光害への取り組みが生態系保全に良い影響を与えていたと認識しています。この自然環境は観光資源として活用できると考えています。(図5)

持続可能な光害(ひかりがい)への取組



(図5) 光害対策を施した後の生態系への影響

11

BEACH HOTEL
SUNSHINE
ISHIGAKIJIMA

2008年より本格的に行なっている「持続可能な光害への取組」は、当ホテルにとって重要な取組であるため、インタープリテーション計画の中心のひとつにすることで、以下の内容をお客様に体験してもらい、またお伝えしていきたいと考えております。

- ①光害について学ぶ
- ②光害対策をしているからこそ、星空鑑賞がより楽しめ、その価値について学ぶ
- ③日本で数少ない光害対策をしているホテルであることを学ぶ
- ④生態系への影響を学ぶ
- ⑤自然との付き合い方を学ぶ
- ⑥自然とのつながりを学ぶ

(3) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その3 「星空ツアーの取組」

ホテル敷地内で通年催行されている星空ツアーは、2007年に無料の星空案内からスタートしました。2014年に専門ガイドによるツアーへとアップグレードし有料化、今年で10年目（2024年現在）を迎える人気の高い癒しのアクティビティです。その間に敷地全体の照明に光害対策を施し、2016年の新館オーシャンガーデン棟建設の際には丁寧な照明デザインを行い夜空や外に漏れる光をコントロールしました。

2018年に西表石垣国立公園が、ダークスカイによって日本初の「星空保護区」に認定され、八重山諸島の星空に注目が集まりました。光害対策の取組の成果は「しゃにしゃに星空ツアー」の満足度の向上にも繋がっており、星空は当ホテルにとって最大の観光資源となっています。



夏の天の川（ホテル敷地内で撮影）

石垣島でみられる星空は美しいだけにとどまらず、八重山諸島の文化と密接に繋がっています。古い民謡の中には星のことを唄ったものが数多くあり、星に関わる民話も伝承されています。また、八重山の昔の農事暦には必ず、星の観測が欠かせなかったことが知られています。このように星と地元の文化が密接に繋がっていることを「星文化」と言い、八重山諸島には独自の「星文化」があります。星文化があるからこそ、石垣島で星を観る価値があると言っても過言ではありません。

星空ツアーでは、星座を紹介するだけでなく、八重山の「星文化」をお客様に伝えています。「星空ツアーの取組」は星空を通して、たくさんのストーリーを伝えられると考えており、当ホテルのインタープリテーション計画の中心としました。「星空ツアーの取組」を当ホテルのインターパリテーション計画の中心のひとつにすることで、以下の内容をお客様に体験してもらい、また、お伝えしていきたいと考えております。

- ①光害について学ぶ
- ②光害対策をしているからこそ、星空鑑賞がより楽しめ、その価値について学ぶ
- ③日本で数少ない光害対策をしているホテルであることを学ぶ
- ④八重山の星空と触れ合う
- ⑤星座・星について学ぶ
- ⑥八重山では古くから星と暮らしが結びついていたことを学ぶ
(星の位置と農業漁業・民謡)
- ⑦日本初の「星空保護区」に認定されたことを学ぶ
- ⑧八重山の星文化について学ぶ
- ⑨八重山方言での星座の名前を学ぶ
- ⑩ツアーに参加されたお客様の共通の思い出を作る

星空ツアーの様子



南十字星
(ホテル敷地内で撮影)



(4) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その4

「敷地内の多様な亜熱帯の樹木・庭園の植物」

当ホテルスタッフに実施したアンケート調査によると、「敷地内の多様な亜熱帯の樹木や庭園の植物が当ホテルの観光資源となる」という回答が多く見られました。実際にリュウキュウアカシヨウビンやシロハラクイナ、リュウキュウコノハズク、ヤエヤマオオコウモリなど沖縄でしか観察できない鳥や動物が敷地内の樹木や湿地帯に集まってきます。また、天然記念物の「カンムリワシ」が観察できることもありました。このようにホテルの敷地が豊かな亜熱帯樹木で囲まれていることで、八重山に生息する動物や鳥などに触れ合うことができます。

ホテル敷地海沿いの庭園は手入れが行き届いており、日々、色とりどりの植物を楽しめます。その中のひとつの樹木に注目することで、多くのストーリーに触れることもできます。前書きで触れた「ヤラブ」がその一例です。

お客様だけでなくホテルスタッフが大切にしている「敷地内の多様な亜熱帯樹木・庭園の植物」を当ホテルのインタープリテーション計画の中心のひとつにすることで、以下の内容をお客様に体験してもらい、また、お伝えしていきたいと考えております。

- ①自然を五感で楽しみながら学ぶ
- ②生態系への影響を学ぶ
- ③自然との付き合い方を学ぶ
- ④自然とのつながりを学ぶ
- ⑤生き物・植物と触れ合う
- ⑥八重山の植物のにおいを体験する
- ⑦植物は八重山方言名で呼ばれていることを学ぶ
- ⑧お客様が家族共通の思い出を作る
- ⑨植物を通して八重山の文化を学ぶ（ヤラブ、月桃の葉、クバの葉、芭蕉など）



ホテル敷地内のヤラブの木



ホテル敷地内のヤエヤマヤシと小川



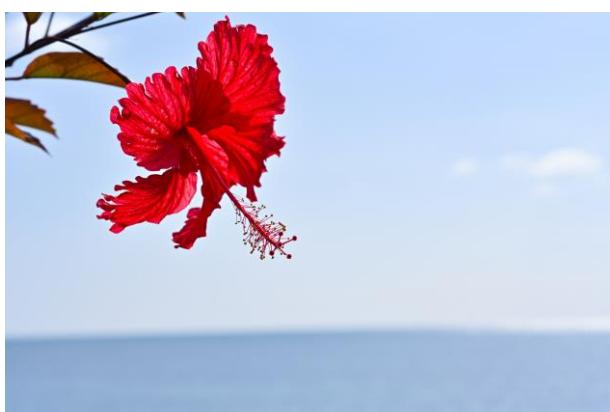
ホテル敷地内のオオギバショウの群落



島バナナ



ホテルの庭園



ハイビスカス



サガリバナ

石垣島ビーチホテルサンシャインで観察できる鳥・動物



リュウキュウアカショウビン



ズグロミゾゴイ



ダイサギ



ヤエヤマオオコウモリ



カンムリワシ（幼鳥）



リュウキュウコノハズク

(5) 石垣島ビーチホテルサンシャインらしさ・価値・魅力 その5

「八重山の島々を見渡せるオーシャンビュー」

客室や庭園から見渡せるオーシャンビューは「星空ツアー」と同様に、当ホテルの観光資源の目玉となっています。真正面には竹富島が、西の方には小浜島、西表島、鳩間島など、八重山の島々が見渡せます。アンケート調査でも「サンシャインの魅力をお客様にお伝えする場合、どのようなことをお話ししますか」に対する質問に対して、「八重山の島々を見渡せるオーシャンビュー」と回答する社員が多くいました。また、「ホテルの海沿いのテラスから眺める夕日の綺麗さを伝えたい」をいう回答も多かったです。

そこで、当ホテルから見渡せるオーシャンビューを、インタープリテーション計画の中心に据えることとしました。



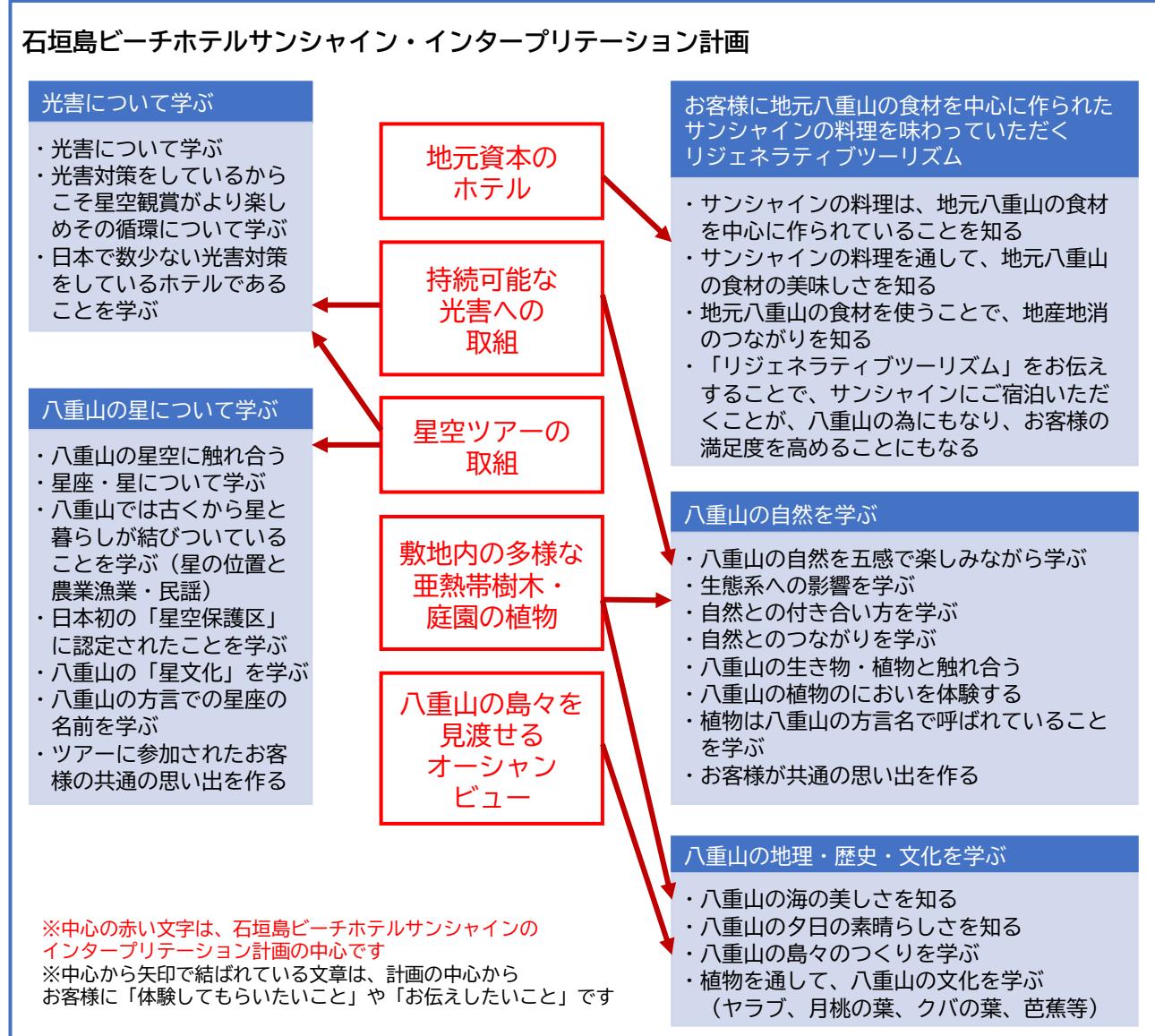
ホテルから見渡せるオーシャンビュー（正面は竹富島・右奥は西表島）

「八重山の島々を見渡せるオーシャンビュー」を当ホテルのインターパリテーション計画の中心のひとつにすることで、以下の内容をお客様に体験してもらい、また、お伝えしていくたいと考えております。

- ①八重山の海の美しさを知る
- ②八重山の夕日の素晴らしさを知る
- ③八重山の島々のつくりを学ぶ

4. 石垣島ビーチホテルサンシャイン・インタープリテーション計画関係図

以上、石垣島ビーチホテルサンシャインのインターパリテーション計画の5つの中心を説明してきましたが、分かりやすく5つの中心と、お客様に体験してもらいたいこと・伝えたいことの関係図を作成しました（図6）。



（図6）石垣島ビーチホテルサンシャイン・インターパリテーション計画関係図



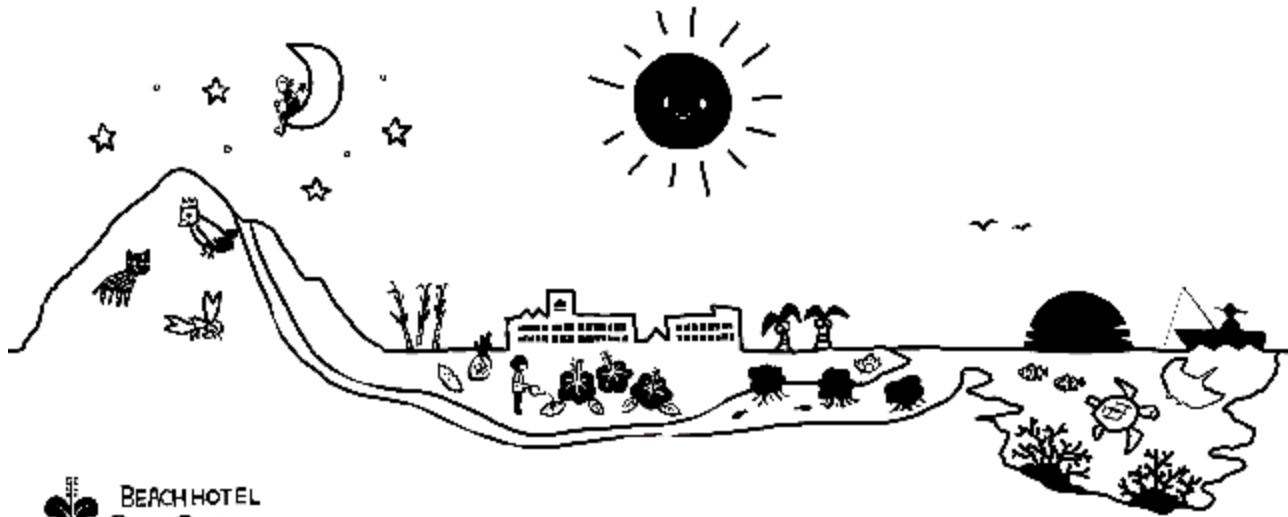
グリーンフラッシュ
(ホテル敷地内で撮影)

4. 最後に

石垣島ビーチホテルサンシャインのインタープリテーション計画は、作成したばかりであり、まだまだ付け足すことがあると思います。社員の皆様のご意見やお客様のご意見を常に丁寧に聞きながら、今後も、より良い当ホテルのインターパリテーション計画を作っていくたいと考えています。

(2024年3月作成・7月改訂)

Be Earth Friendly from Yaeyama Islands
みんな 自然とともに



 BEACH HOTEL
SUNSHINE
ISHIGAKIJIMA

石垣島ビーチホテルサンシャイン

～Be Earth Friendly from Yaeyama Islands～

地元資本の企業としての役割

ご宿泊、お食事、アクティビティ等、お客様とスタッフのコミュニケーションを通して
八重山の魅力をお伝えし、未来の子どもたちに豊かな自然を引き継ぐこと

会社名	株式会社サンシャイン
創業	1978年8月
会社所在地	沖縄県石垣市新川2484番地
施設名称	石垣島ビーチホテルサンシャイン
開業	1979年8月
事業内容	ホテル事業
客室数	114室（本館74室；新館40室）
従業員数	約45名



1979年開業当時



2022年現在

石垣島の西海岸線沿いに位置する「石垣島ビーチホテルサンシャイン」
海に浮かぶ八重山の島々、幻想的な夕焼け、夜空に輝く星
自然の音色に耳をかたむけ、ゆったりとお寛ぎいただけるよう工夫を凝らしました



露天付展望大浴場「ゆんたくぬ湯」



しゃにしゃにガーデン(エコ除草)



インフィニティープール



Guest Room「浮舟」



Restaurant「海边のテラス 波の詩」



しゃにしゃに星空ツアー



Beach Sunshine YOGA



Reception (Wedding)